

第4回 公共交通を考えるワークショップ

アンケート調査結果（速報版）
【引田・代継・網代区域（網代）】

引田・代継・網代区域（網代）においては、平成30年12月14日～12月25日の期間において、全162世帯を対象にアンケート調査を実施しました。このアンケート調査結果（速報版）では、平成31年1月7日までに回収した調査票を対象に集計した結果をお示ししています。

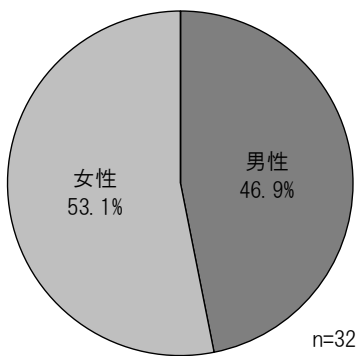
自由意見を含めた最終的な結果については、今後市ホームページにて公表する予定です。

配布数：91 回収数：32 回収率：35.2%（1月7日現在）

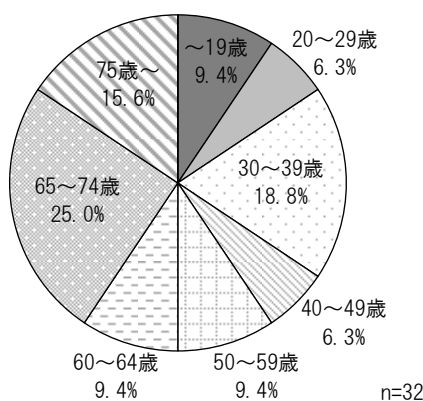
※ 端数処理により、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

回答者属性

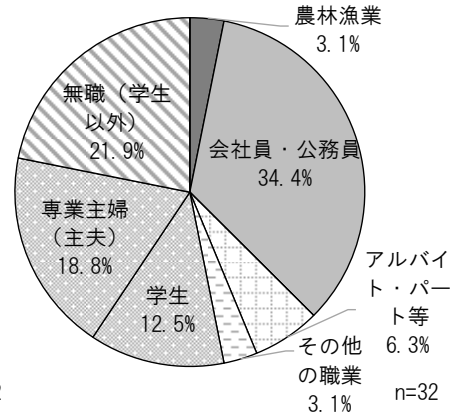
問1 性別



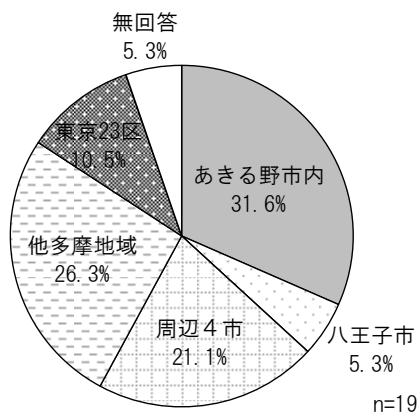
問2 年齢



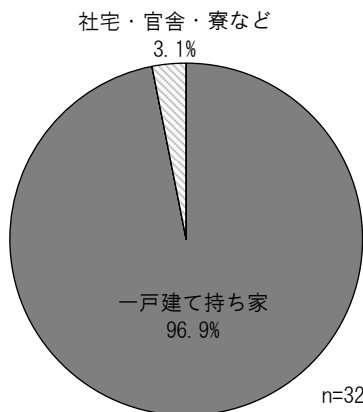
問3 職業



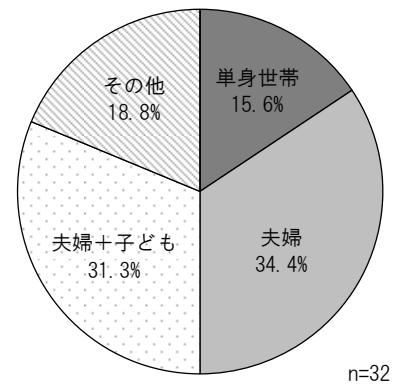
問3-1 通勤・通学場所



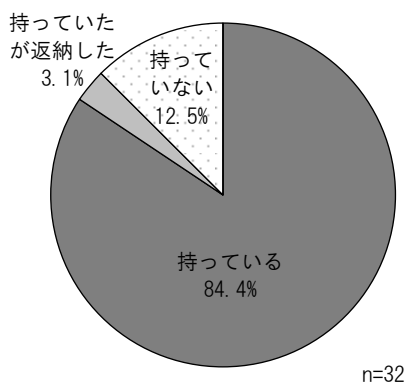
問4 住宅の種類



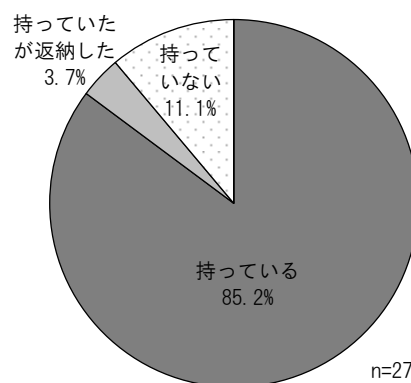
問5 世帯構成



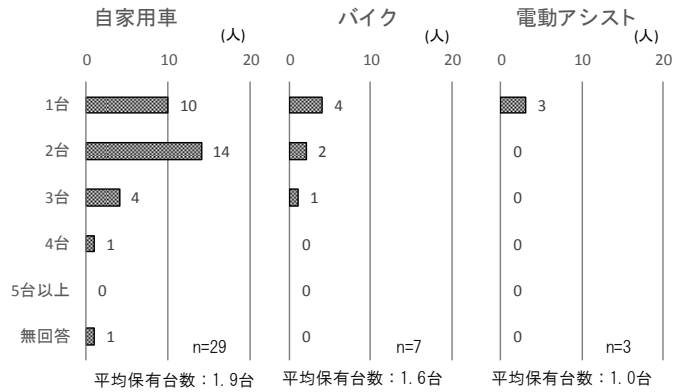
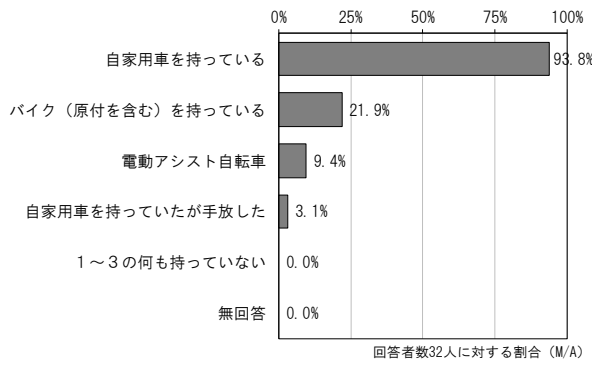
問6 回答者ご本人の運転免許保有有無



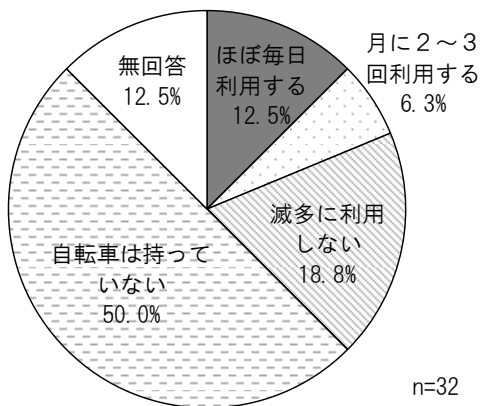
問7 同居されているご家族の運転免許保有有無



問8 自家用車等保有状況



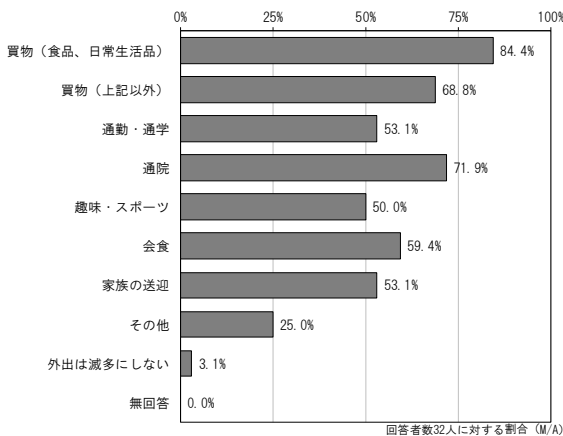
問9 自転車の利用状況



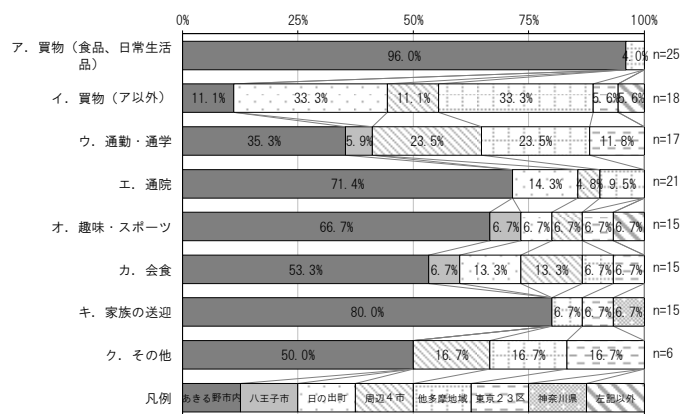
日常の外出について

- ・ 外出目的では「買物（食品、日用品）」が84.4%で最も多く、次いで「通院」71.9%が多い。
- ・ 外出の目的地では、「買物（食品、日用品）」の場合はあきる野市内が96.0%を占めるが、「通院」の場合、市内は71.4%であり、日の出町が14.3%みられる。
- ・ 上記以外の目的でも、概ねあきる野市内が1位又は2位であるが、「買物（ア以外）」や「通勤・通学」では、東京23区や日の出町、周辺4市占める割合が高い。
- ・ いずれの外出目的においても、主たる交通手段は「自家用車（自分で運転）」である。
- ・ 「買物（食品、日用品）」については、9割近くの人が週1日かそれ以上の頻度で外出している。

問10 普段外出する目的

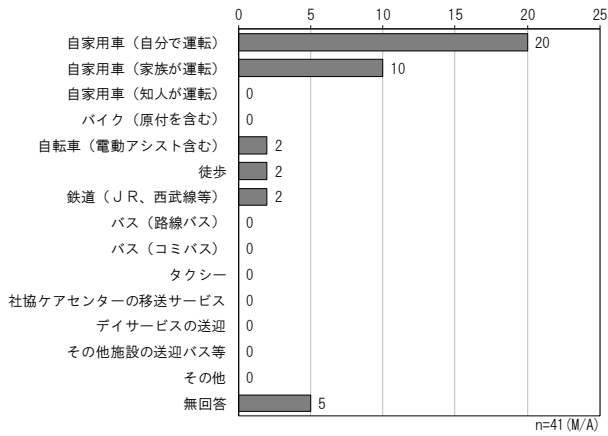


問10-1A 外出の目的地

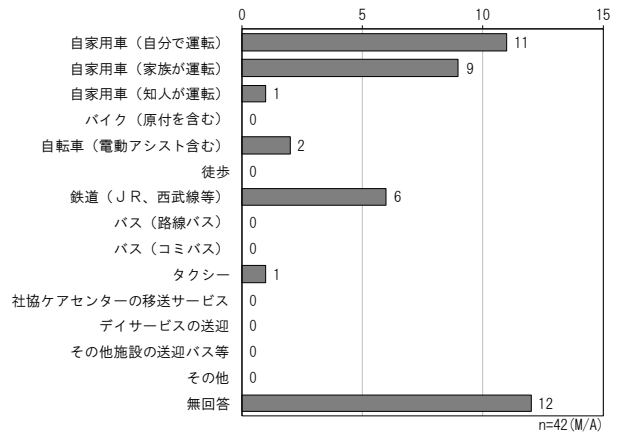


問10-B 外出時の利用交通手段

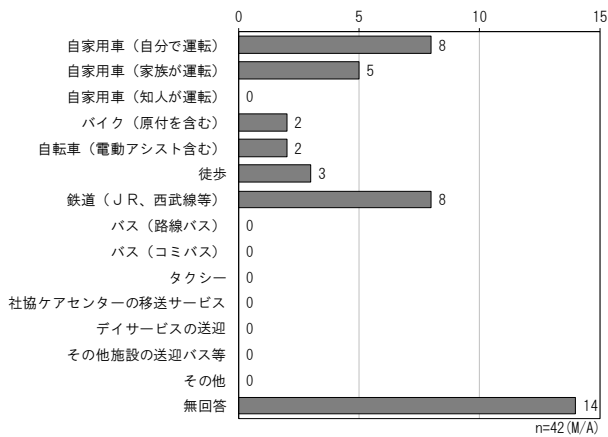
ア. 買物（食品、日常生活品）



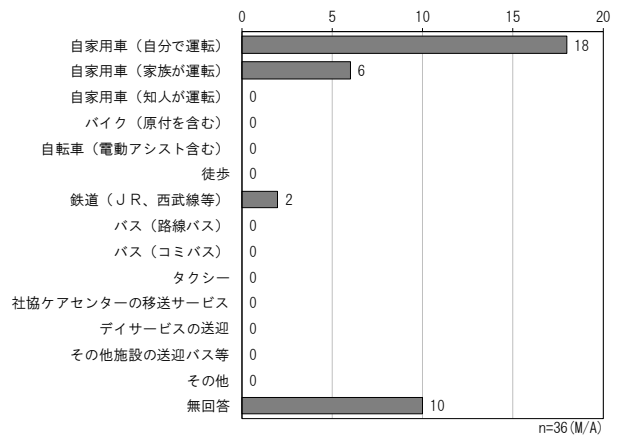
イ. 買物（ア以外）



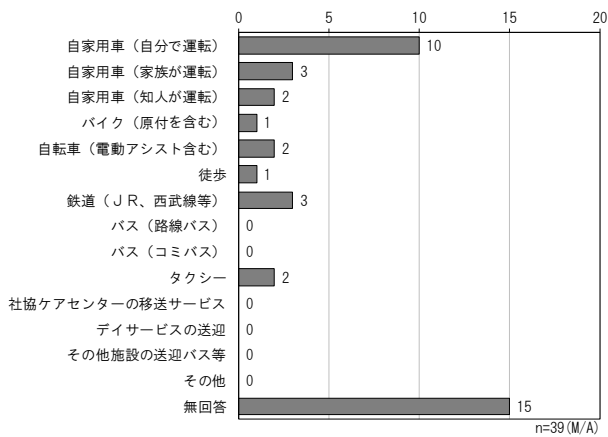
ウ. 通勤・通学



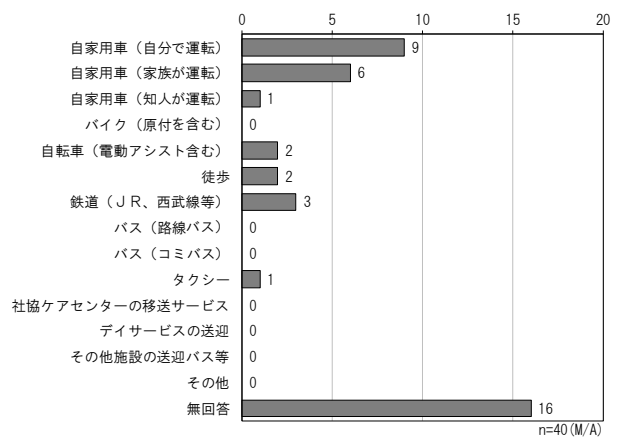
エ. 通院



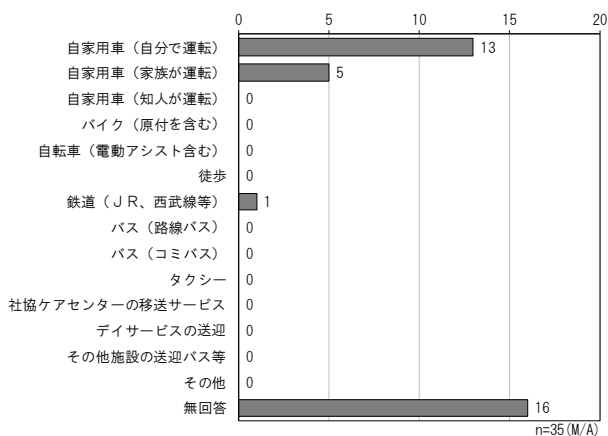
オ. 趣味・スポーツ



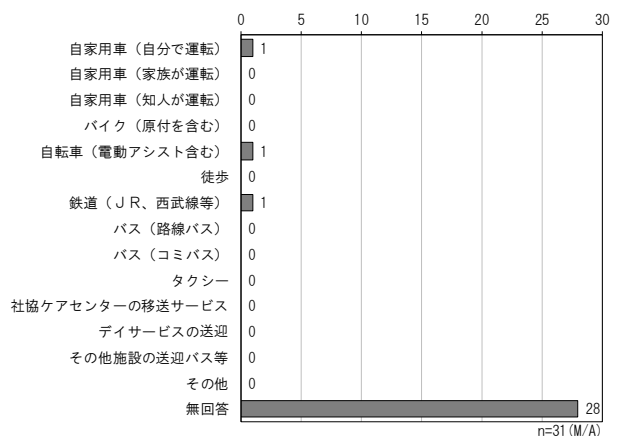
カ. 会食



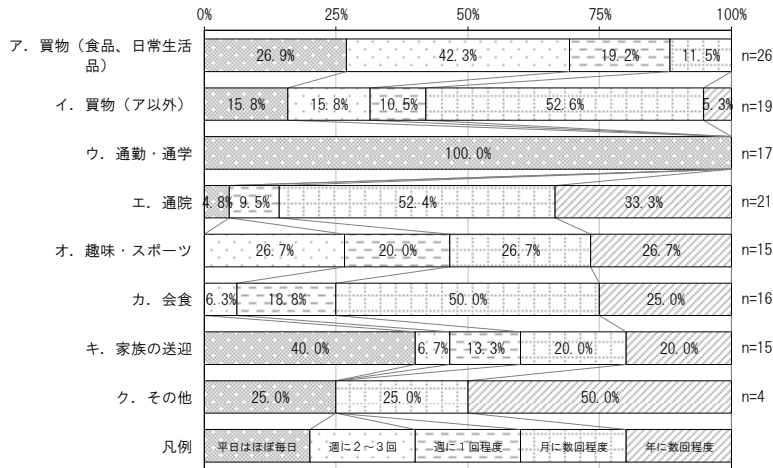
キ. 家族の送迎



ク. その他



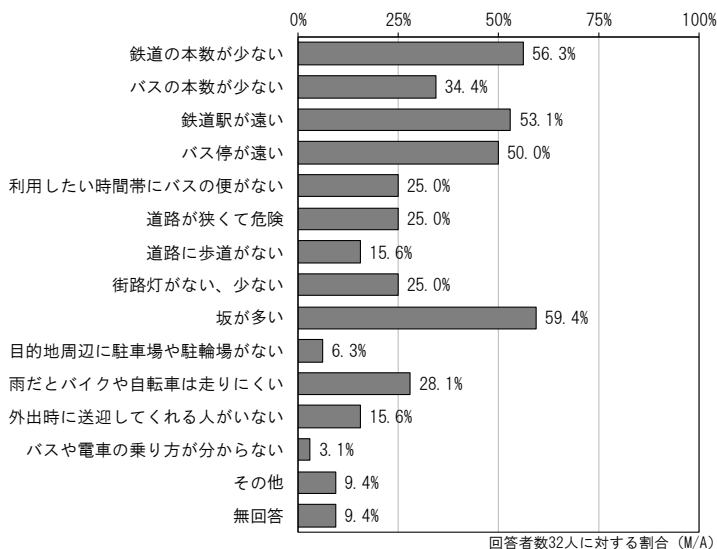
問10-C 外出頻度



普段交通でお困りのことについて

問11 交通に関して困っていること

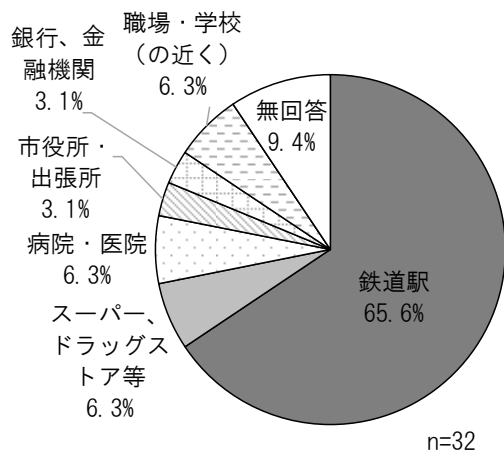
・「坂が多い」が59.4%で最も指摘率が高く、次いで、「鉄道の本数が少ない」56.3%、「鉄道駅が遠い」53.1%、「バス停が遠い」50.0%の指摘率が高い。



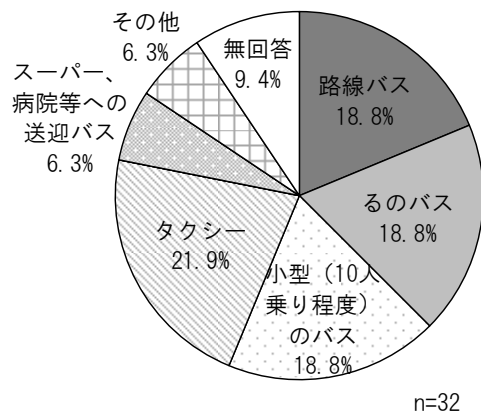
公共交通に対するご期待・ご要望

・公共交通で行きたいところは「鉄道駅」が65.6%で最も多く、その際の交通機関は「タクシー」が21.9%で最多の他、「路線バス」「るのバス」がともに18.8%である。

問12 公共交通で行きたいところ

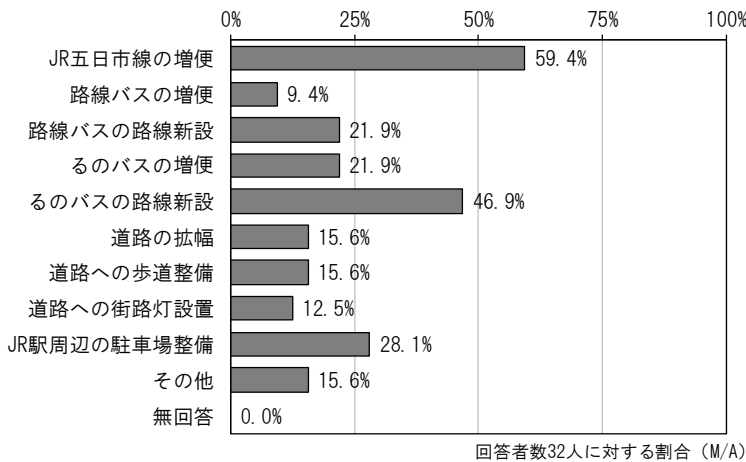


問13 問12の目的地へ行く交通



問 14 求められる交通整備

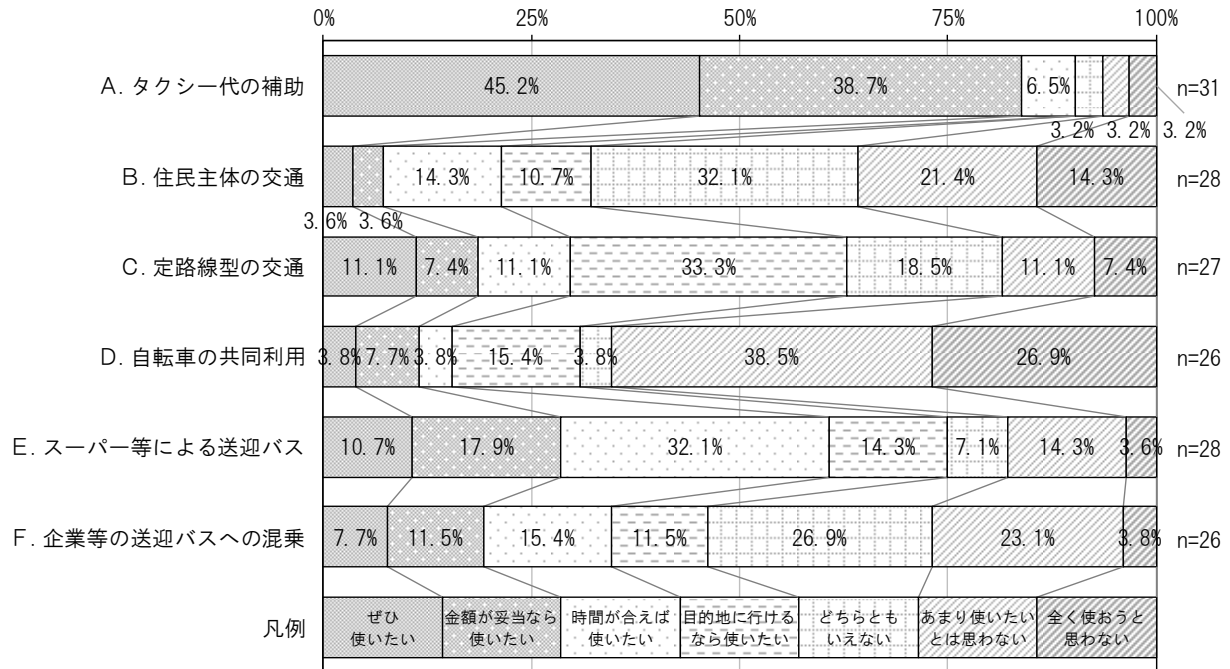
・「JR 五日市線の増便」が 59.4%で最も指摘率が高く、次いで「るのバスの路線新設」46.9%の指摘率が高い。



ワークショップで出た公共交通の方向性に対するご意見

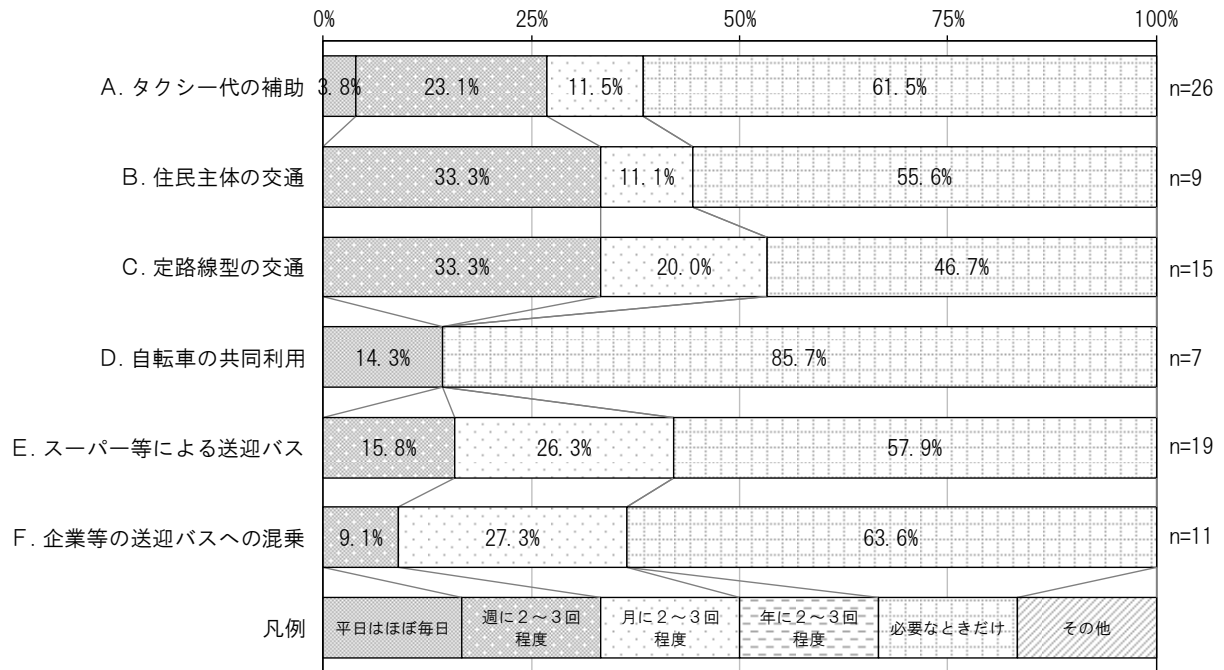
問 15 各公共交通サービス候補に対する利用意向

・「ぜひ使いたい」「金額が妥当なら使いたい」「時間が合えば使いたい」「目的地に行けるなら使いたい」を合わせて、「使いたい」とする割合が60%を超えたのは、「A. タクシー代の補助」90.3%、「E. スーパー等による送迎バス」75.0%、「C. 定路線型の交通」63.0%の3つであった。
 ・これらのうち、「A. タクシー代の補助」については「ぜひ使いたい」の割合も45.2%と高いが、一方で「金額が妥当なら使いたい」も次いで38.7%を占めている。



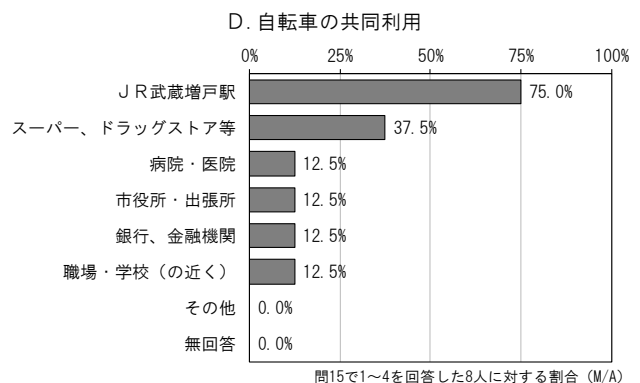
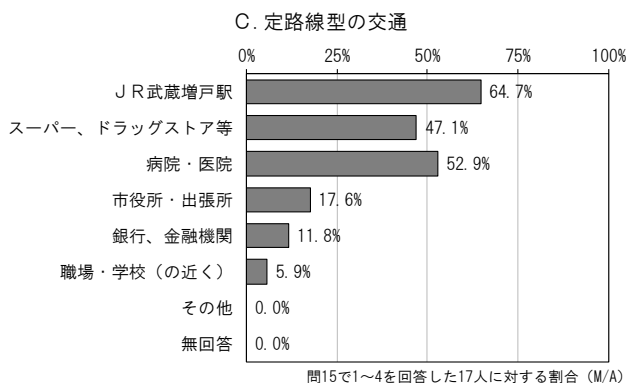
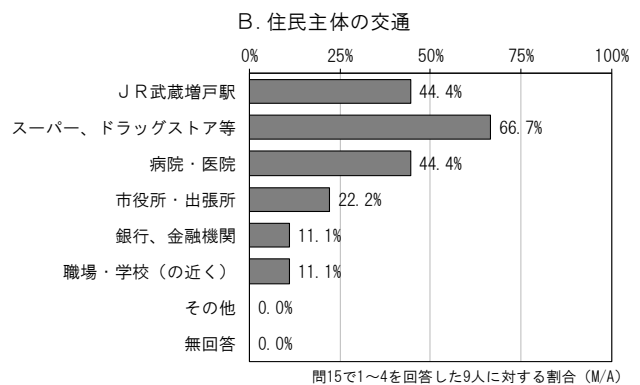
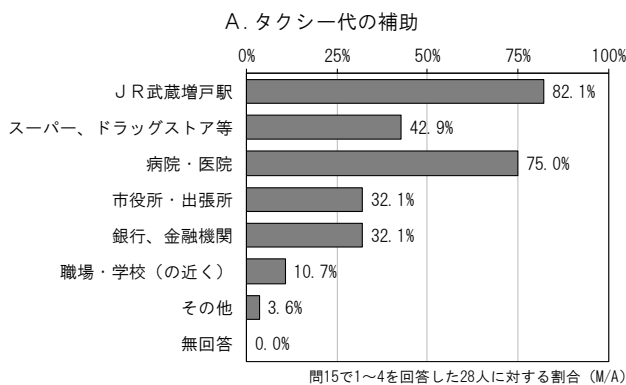
問 15-1 各公共交通サービス候補に対する利用頻度

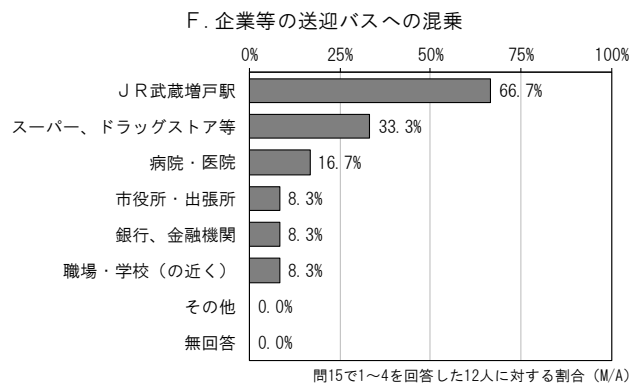
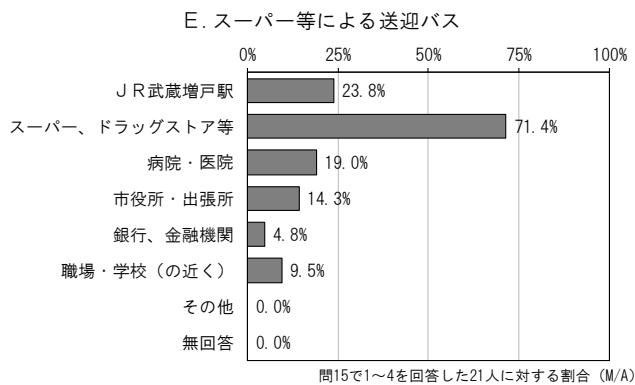
・「週2～3回」以上利用したい人の割合が高いのは、「B. 住民主体の交通」「C. 定路線型の交通」の33.3%、「A. タクシー代の補助」26.9%の3つである。
 ・一方、「E. スーパー等による送迎バス」「F. 企業等の送迎バスへの混乗については「月に2～3回程度」利用したいとする人がそれぞれ26.3%、27.3%みられる。



問 15-2 各公共交通サービス候補を使って行きたいところ

・「A. タクシー代の補助」「D. 自転車の共同利用」「F. 企業等の送迎バスへの混乗」では「JR 武蔵増戸駅」が、「B. 住民主体の交通」「E. スーパー等による送迎バス」では「スーパー、ドラッグストア等」が、「C. 定路線型の交通」では「病院・医院」がそれぞれ最多となっている。

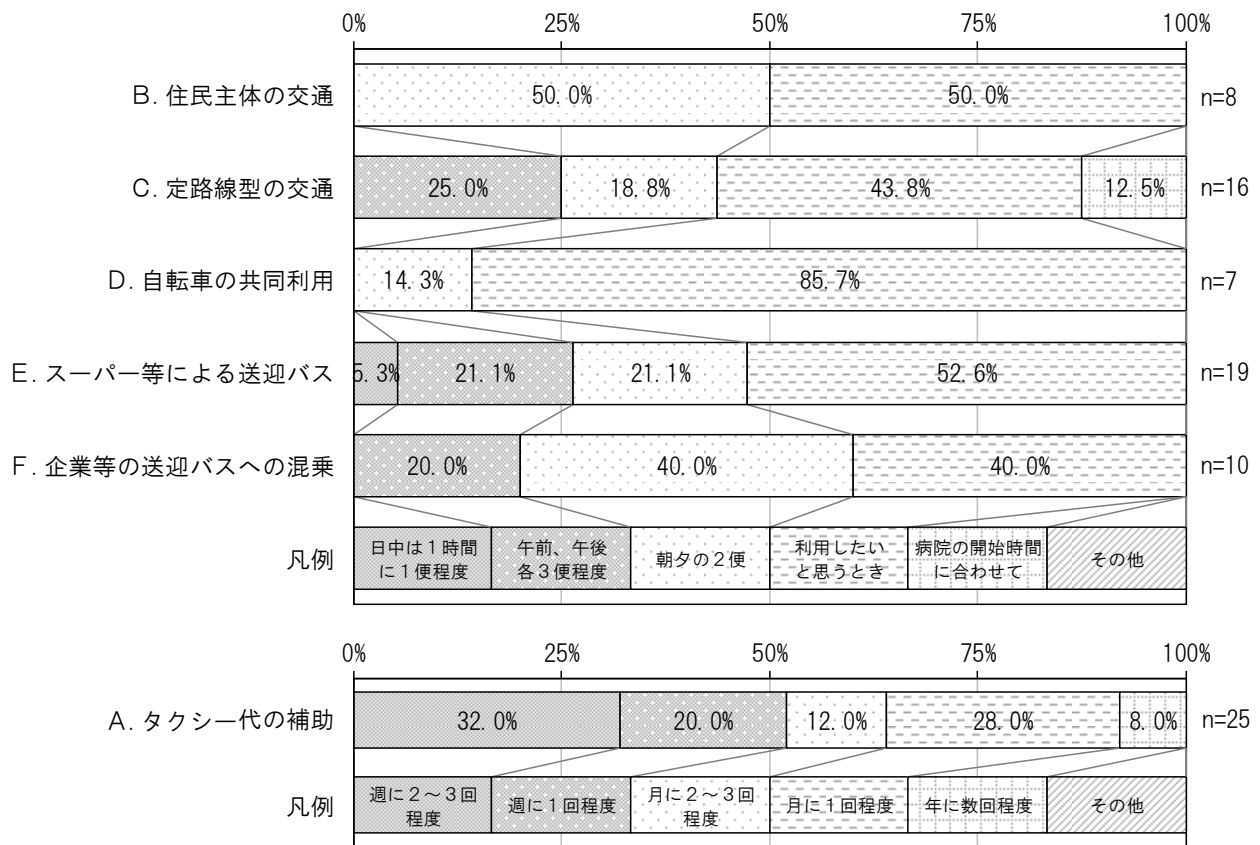




問 15-3 各公共交通サービス候補に求める運行頻度

・「日中は1時間に1便程度」とする要望が見られるのは「E. スーパー等による送迎バス」5.3%のみで、「C. 定路線型の交通」「E. スーパー等による送迎バス」「F. 企業等の送迎バスへの混乗」では「午前、午後各3便程度」がそれぞれ25.0%、21.1%、20.0%である。

・「B. 住民主体の交通」と「F. 企業等の送迎バスへの混乗」では「朝夕の2便」がそれぞれ50.0%、40.0%を占める。



問 15-4 各公共交通サービス候補の料金設定

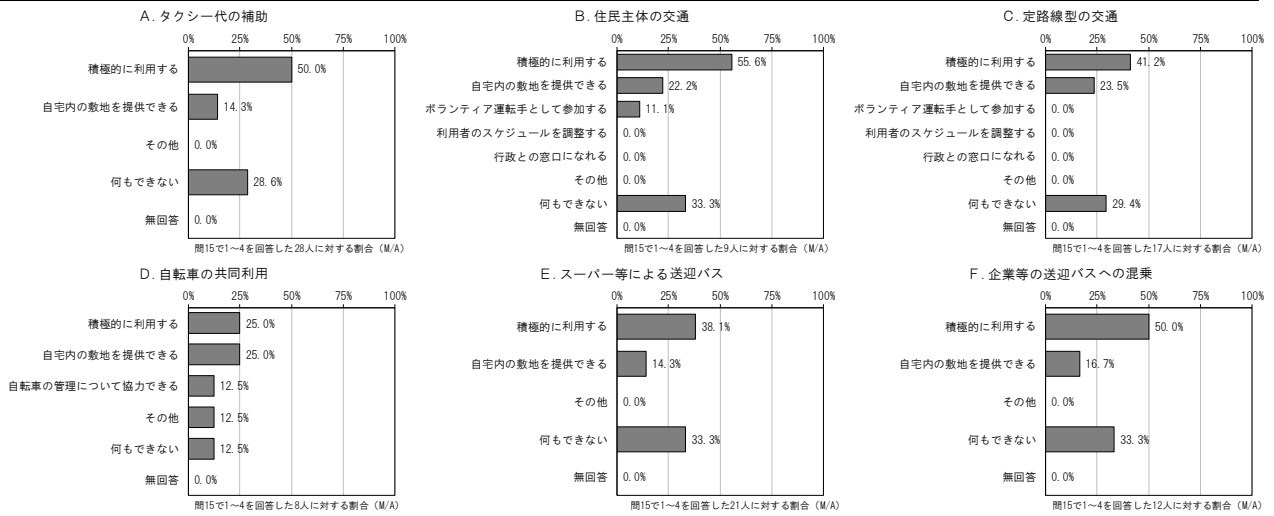
・各公共交通サービス候補の料金設定について平均を算出すると、「A. タクシー代の補助」543円、「B. 住民主体の交通」486円、「C. 定路線型の交通」337円、「D. 自転車の共同利用」258円、「E. 大手スーパー等による送迎バスの運行」294円、「F. 企業等の送迎バスへの混乗」267円となった。

| 公共交通サービスの候補 | ぜひ使いたい | 条件付き | | | 全希望者 |
|---------------------------|--------|-------|----------|----------|------|
| | | 金額が妥当 | に使用したい時間 | に行きたいところ | |
| A. タクシー代の補助 | 632 | 470 | 300 | 0 | 543 |
| B. 住民主体の交通（ご近所同士の自動車の相乗り） | 1,000 | 0 | 333 | 467 | 486 |
| C. 定路線型の交通（乗合タクシー） | 550 | 200 | 233 | 339 | 337 |
| D. 自転車の共同利用 | 250 | 100 | 100 | 367 | 258 |
| E. 大手スーパー等による送迎バスの運行 | 150 | 575 | 250 | 133 | 294 |
| F. 企業等の送迎バスへの混乗 | 200 | 550 | 250 | 133 | 267 |

単位：円

問 15-5 各公共交通サービス候補に対する支援

・「D. 自転車の共同利用」以外は、「積極的に利用する」という人が40～50%程度見られる。
 ・いずれのサービスにおいても、複数の方から「自宅内の敷地を乗降場等として提供できる」という回答があった。



問 15-6 各公共交通サービス候補を利用しない理由

・「B. 住民主体の交通」「C. 定路線型の交通」「E. スーパー等による送迎バス」については、「自家用車で十分だから」が過半数を占めている。
 ・「D. 自転車の共同利用」についても「自家用車で十分だから」が40%みられるが、「時間がかかりそうだから」「安全面が心配だから」もそれぞれ20%みられる。
 ・「A. タクシー代の補助」については、「自家用車で十分だから」と「別途料金がかかるから」がともに50%となっている。
 ・「F. 企業等の送迎バスへの混乗」については「時間が合わなそうだから」が60.0%で最多意見となっている。

